

令和5年度学校研究

○研究主題・副主題

「対話を通して，問題解決できる児童の育成」

～学習リーダーを中心とした授業を目指して～

○育成を目指す資質・能力

主体的に学ぶ力，問題発見・課題解決能力

○めざす児童像

- ・主体的に向かい，自ら考えて課題解決しようとする子
- ・友達と対話しながら考えを深める子

○研究の重点と内容

研究の重点

○問題を解決する場の充実（深める対話）

一番深めたい場面での対話

- ・何のために，どのような対話を取り入れるか。
- ・どのような形態で，どんなツールを使って考えを共有するのか。
- ・深めの発問
- ・学習リーダー中心とした，児童主体の授業展開

（1）授業づくり

○押水第一小授業スタイル

- ① 児童主体の授業展開（国語・算数・理科を中心とする）
 - ・学習リーダーが授業を進め，児童が主体となる授業展開
- ② 深める対話でねらいにせまる★重点
 - ・対話の目的（何のために，めざす児童像），方法，形態を明確にした深める対話
 - ・深めの発問
 - ・ICTを活用した協働学習

○押水第一小授業スタイルの実態把握

- ・相互参観
- ・研究授業（事前の模擬授業も含む）
- ・月1回の教員アンケート

押水第一小授業スタイル(全教科版)

		内容	留意点
導入	スタート	チャイムとともに号令 前時の復習	<ul style="list-style-type: none"> 必要な学習道具を準備しているか確認する。 既習内容は、必要に応じて板書する。
	つかむ	A 問題提示 B 問題把握 C 課題づくり	<ul style="list-style-type: none"> ←児童の主体性を高めるよう工夫する。 ・身近なものを題材にする、問題の続きを予想するなど ←題意を読み取らせる。 ・問題状況をイメージさせる。 ・聞かれていることに注目させる。 ←子どもとともに思考課題を設定する。 ・前時の学習との違いに注目させる。 ・「どうして」「どんな」「どのように」など
展開	深める 学び合う 考える	A 見通し B 自力解決 C 考えの交流★ D 全体交流★	<ul style="list-style-type: none"> ←課題解決の見通しを持たせる。 ・課題解決の手順やヒントを児童から引き出したり、答えを予想させたりする。 ←思考時間を確保し、自力解決の場面を設ける。 ・思考時間の目安は低3分・中2分30秒・高2分 ・根拠(図・叙述・経験など)をもとにして、自分の考えが持てるように指導する。 ←学習形態を選択し、考えを交流する。 ・課題解決に適した学習形態(ペア・グループ・自由交流)を設定する。 ・話し合うことを明確にしてから、話し合いを始める。 ・意見交流の時間の目安は低7分・中5分・高3分 ←聞き手を意識させながら、全体で考えを交流する。 ・聞き方・話し方の学習規律を徹底する。 ・思考をゆさぶる発問を通して、深い学びへと向かわせる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 一番深めたい場面での対話 <ul style="list-style-type: none"> ・目指す児童像は？ ・深めの発問をどうするのか。 ・何のために、どのような対話を取り入れるか。 ・どのような形態(グループ・全体など)で、どんなツールを使って考えを共有するのか。 </div>	
終末	ふりかえる まとめる	A まとめ B 適用問題 C ふり返り	<ul style="list-style-type: none"> ←板書のキーワードを使って本時の学習を自分の言葉でまとめる。 ←ねらいに即した適用問題に取り組ませる。 ・学力調査問題等の活用 ←ふり返りを通して、学びの自覚・変容をつかませる。

第一子の学び方(学習リーダーの進め方)※原案

ふりかえり (発表・練習)	① 前回学習したことは何ですか。 ② 練習問題をしましょう。 ③ 答え合わせをします。
課題をつかむ (先生と)	④ 今日の問題は何ですか。 ⑤ (課題を書いたら) 今日の問題は < >
自分たちで考える (個人→ペア)	⑥ 自力解決は5分です。 ⑦ 時間になりました。ペアの人と3分で話し合ってください。 (話し合いの後、自分の考えをつけたしましょう。)
全体の学び合い	⑧ みんなで話し合います。 考えを説明してください。 ◎それぞれが、考えを発表する。 ⑨ しつ問や意見はありませんか。
先生との学び合い まとめ	⑩ 話し合って、分かったことは「 > 」です。 (~と~という考えが出ました。 ・・・のところははっきりしません。など) ⑪ (先生おねがいします。) ◎先生とみんなで話し合う。 ⑫ まとめを言いましょう。
学びを生かす	⑬ ○○をしましょう。時間は△分です。 ⑭ できた人から、ペアの人と答え合わせをしましょう。
ふりかえる	⑮ ふりかえりを書きましょう。



★学習リーダーは、話し合う内容にそって、話し合いを進めましょう。
(考えが出ないときはペアでの話し合いを入れてもよいです。)
★全員参加で、自分たちで話し合いを進められるようにしましょう。



(2) 学びの土台作り

○相手意識をもった話し方・聞き方の徹底

- ・聞き手の方に体を向けて話す・図や資料を指し示しながら説明する。
- ・話し手の方に体を向けうなずきながら聞く・納得したり疑問に思ったりしたことを反応で示す。



※ 資料を指し示して考えを説明

○全体での発表・表現の場の充実

- ・学校行事（全校集会での生活目標のふり返り、音楽集会、卒業式など）
- ・児童会活動（児童集会、学年発表、6年生を送る会など）
- ・異学年交流（遠足、体験学習、アサギマダラマーキングなど）
- ・地域の方との交流学習（あじさい交流会、昔遊び交流会など）
- ・ランチルームでの委員会からのお知らせ

○基礎基本の定着、活用力をつける朝学習・帯タイム

	月	火	水	木	金
朝学習	読書	活用 (算数)	基礎 (国語)	活用 (国語)	理科 / 社会
ドリルタイム	パソコン 対話タイム 自学紹介				基礎 (算数)

NEW: (2週間に1回)
児童同士で、自学ノートを紹介し合い、主体的に取り組もうとする態度と意欲の向上を図る。

○家庭学習の習慣化・生活習慣の改善を図るための取組

- ・第一っ子カードチャレンジ週間（5, 6, 9, 11, 1月に実施）
- ・自学ノート（級外が点検する or 児童同士で良いノートを紹介し合う★児童の主体性）